

「第17回産業保健フォーラム IN TOKYO 2012」 を開催しました。

東京労働局労働基準部健康課

東京労働局は、平成24年11月21日(水)に「いま 知っておきたい ところと体の健康づくり」をメインテーマに「第17回 産業保健フォーラム IN TOKYO 2012」を開催しました。このフォーラムは、労働者の健康確保について、事業者及び労働者、そして広く国民にその重要性を深く理解していただくとともに、個々の事業場における取組が着実に実施されることを目的として毎年開催しているもので、今年は、社会的関心の高い、職場におけるメンタルヘルス対策の講演、メンタルヘルス・健康管理の事例発表及び、相談コーナー・展示コーナーが主な内容でした。

大変多くの方々にご参加いただくことができ、その数は約950人でした。会場でこのフォーラムについてのアンケートに、452人の方々からご協力をいただきました。

アンケートの取りまとめ結果の概要は下記のとおりです。

(詳細については別紙をご覧ください。)

記

1 参加者の勤務地

都道府県別では、東京都が全体の84%を占めていました。他府県からの参加者は、神奈川、埼玉、千葉県などからの参加もありました。

(別紙の1)

2 参加回数

初参加の方は63%、2回目以上の参加の方は37%でほぼ昨年と同様でした。(別紙の4)

3 関心度

アンケートに回答していただいた方の93%が、「メンタルヘルスへの対応」に、76%の方が「働き過ぎによる健康障害」に関心を持っていました。

「メンタルヘルスへの対応」の内容では、「職場復帰」が高く、「働き過ぎによる健康障害」の内容では、「長時間労働対策」が高い状況でした。(別紙の7)

4 アンケートに回答していただいた方のご意見、ご感想

74名の人から意見を頂きました(別紙の8)

【第 17 回 産業保健フォーラム IN TOKYO 2012】

のアンケートから

東京労働局健康課

11月21日(水)にティアラこうとうで開催した産業保健フォーラムの来場者は約950名でその内、452名の方々からアンケートにご協力をいただきましたので、その集計結果を掲載します。

このアンケート結果は、今後の行政の取組に生かしたいと考えております。

1 勤務地等

来場者の勤務地の都道府県別では、東京都が全体の84%を占めています。

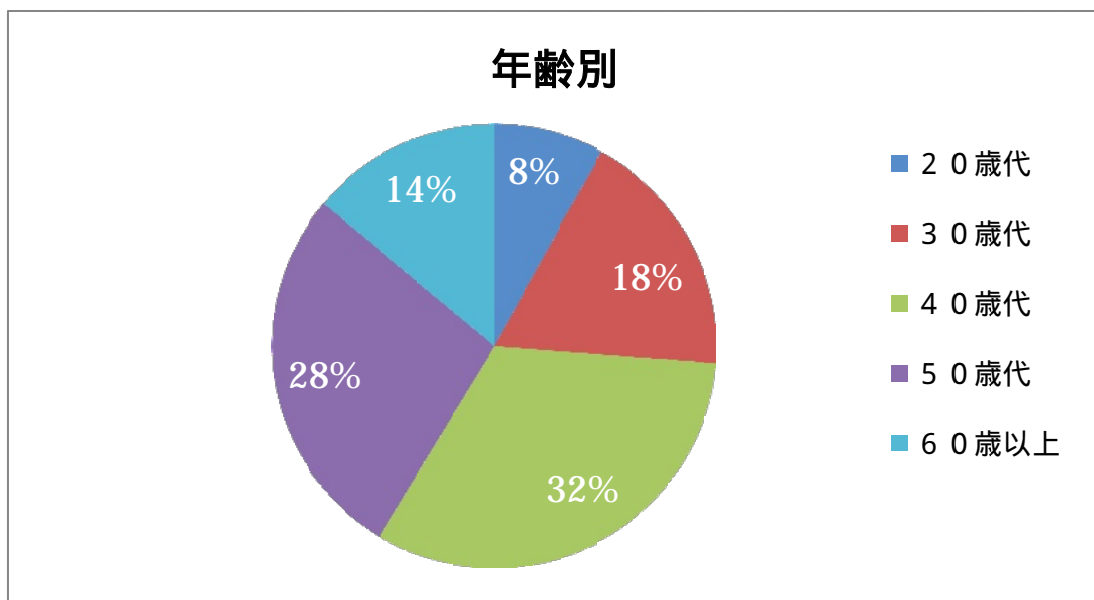
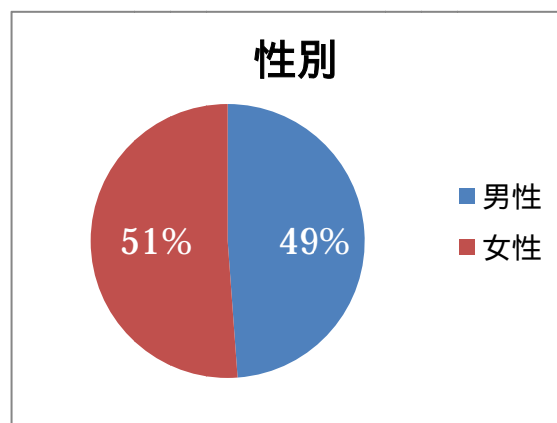
他府県からは16%で、そのほとんどは南関東の神奈川、埼玉、千葉県からですが、北関東の茨城、群馬、栃木県その他、静岡、愛知、長野県などからも参加されました。

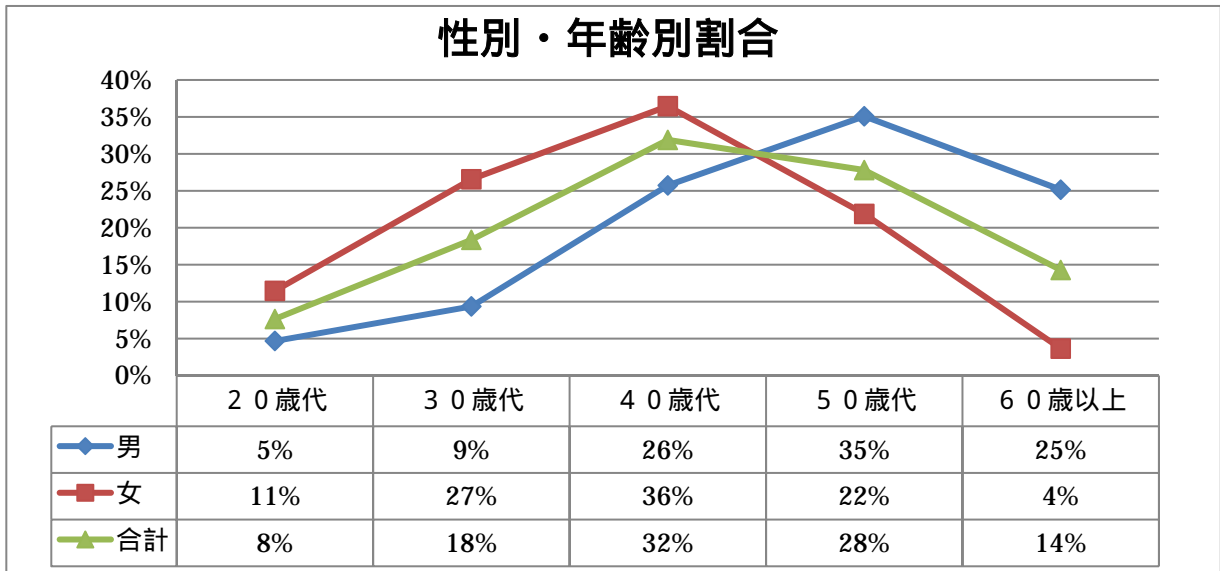
2 性別、年齢別

来場者を性別に分けると、女性51%、男性49%の比率です。

女性は、前回47%とより増加し、増加傾向が続いていると思われます。年齢別に見ると、女性は、40歳代が多く、女性全体の36%を占めています。

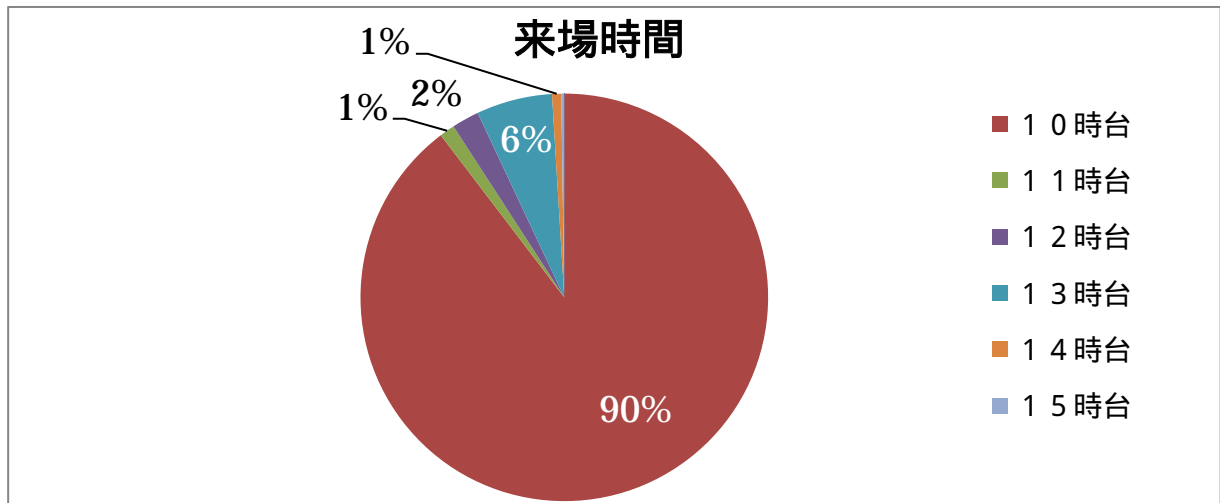
男性は、年齢が高くなるとともに多くなり、50歳代以上が60%を占めています。





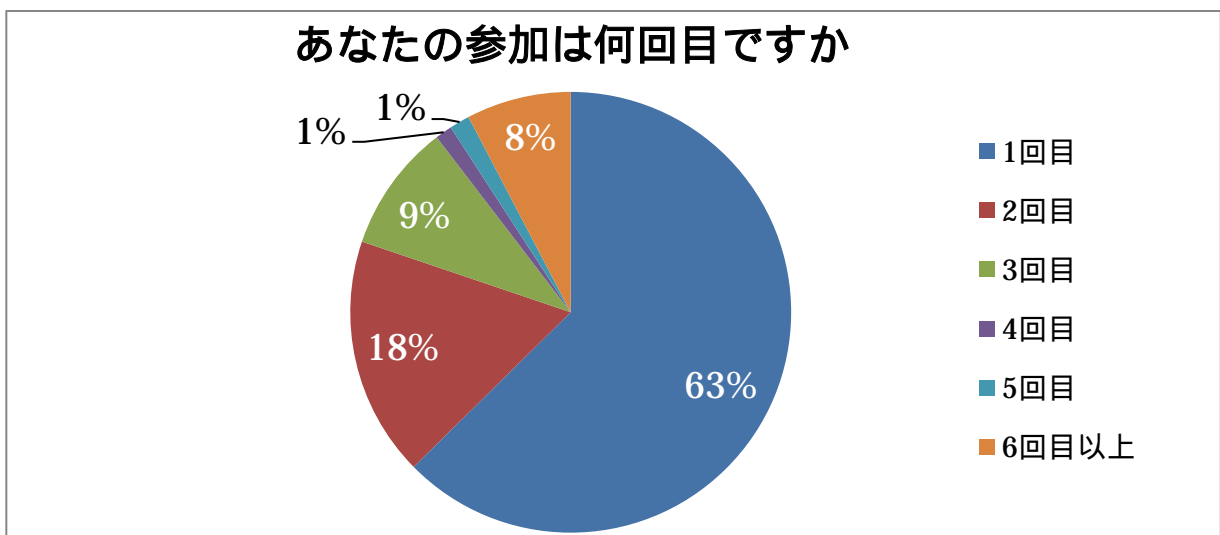
3 来場時刻

来場者の来場時刻は、90%は10時台に来場されています。特別講演に対する関心が高いためと思われます。



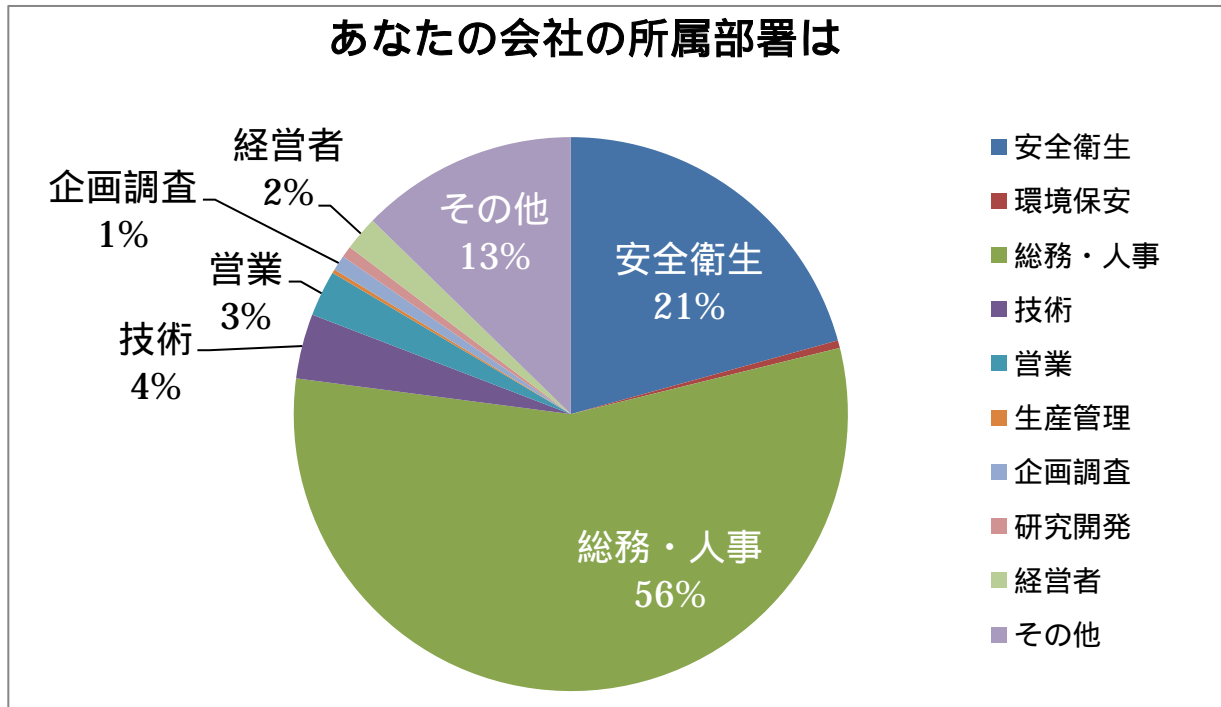
4 参加回数

初参加は63%、2回目以上は37%です。前年の初参加は64%でほぼ昨年と同様の数字です。



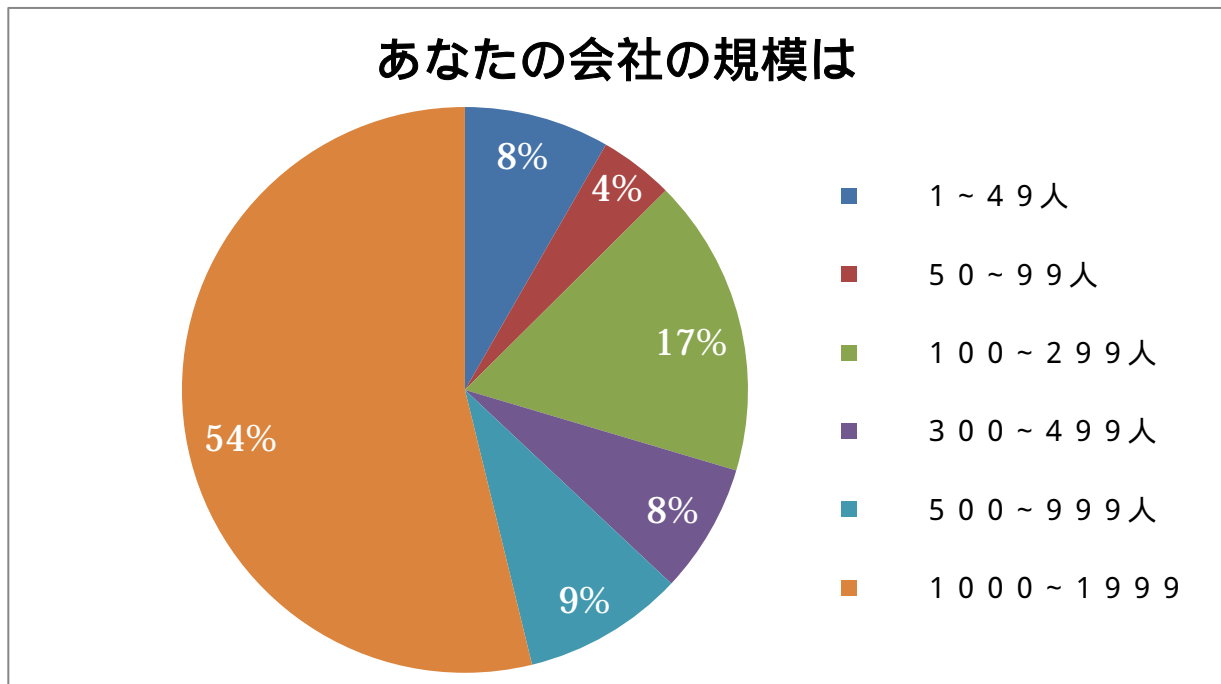
5 所属部署

来場者の所属では、総務・人事と安全衛生で77%を占めています。



6 事業場規模

来場者の所属事業場規模は、300人以上が71%を占め、1000人以上が54%を占めています。1人から49人の事業場は8%でした。

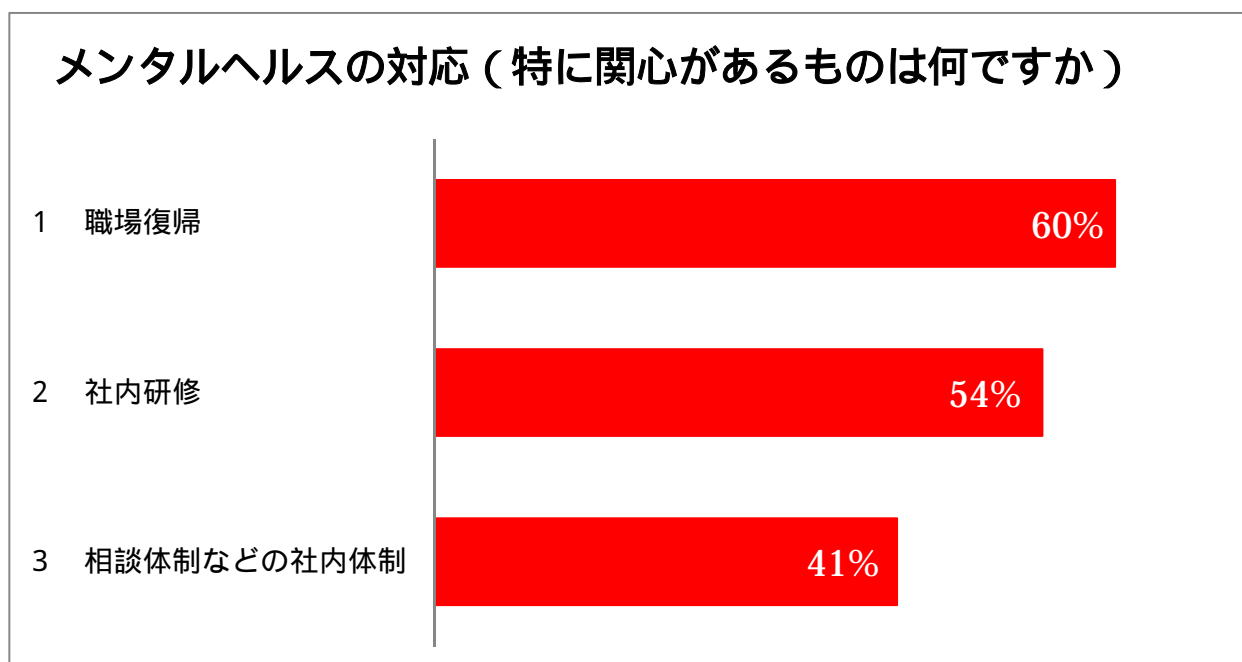
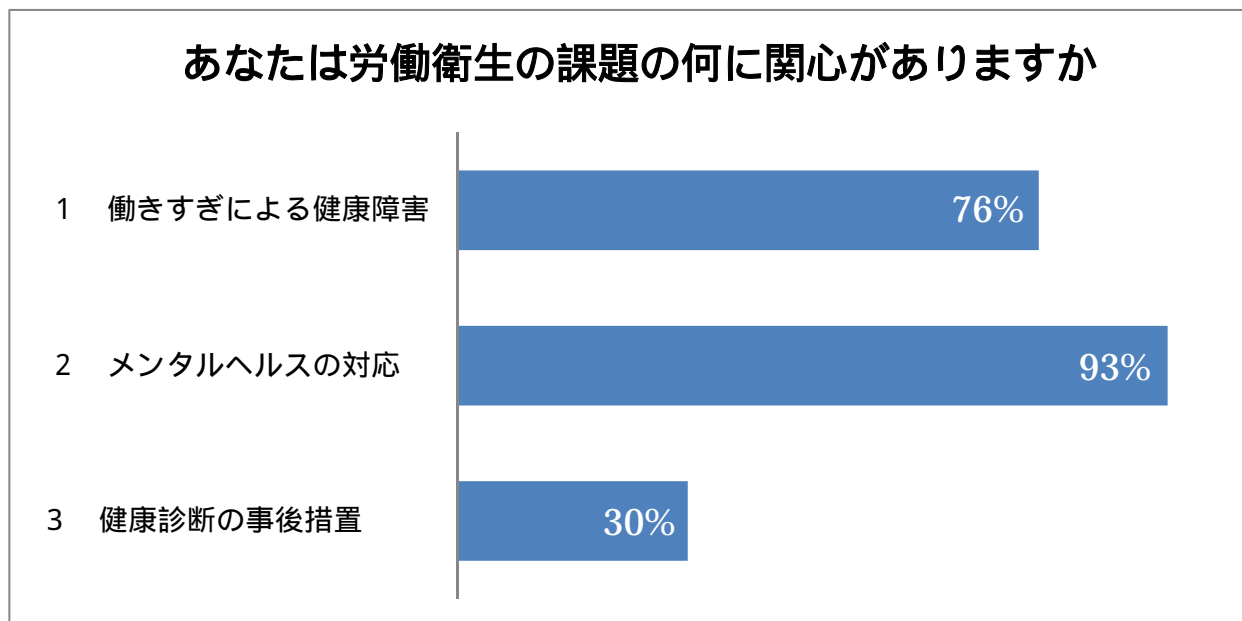


7 関心度

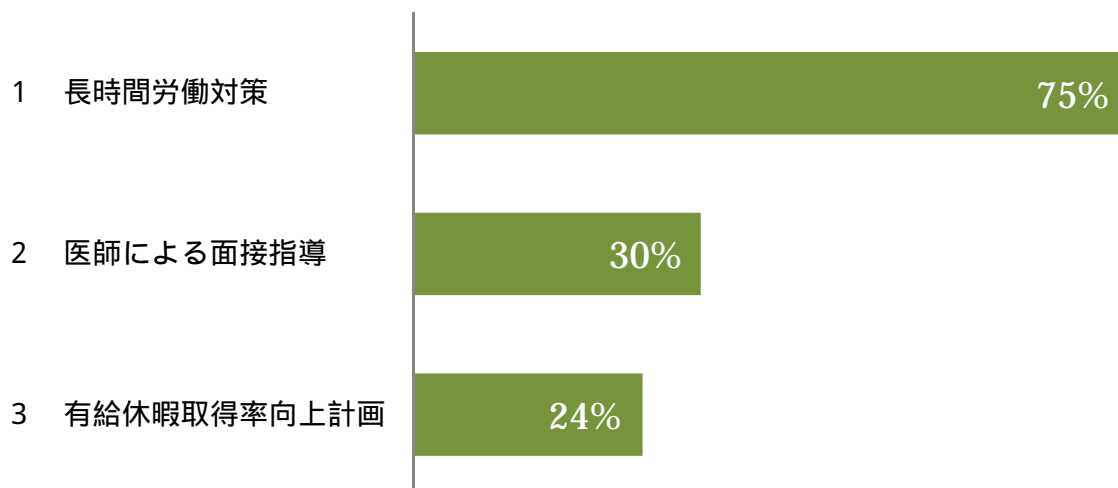
93%の方が、「メンタルヘルスへの対応」に、76%の方が「働き過ぎによる健康障害」に関心を持っています。

メンタルヘルスへの対応の内容では、「職場復帰」が60%と最も多く、次いで「社内研修」が54%でした。

働き過ぎによる健康障害の内容では、「長時間労働対策」が75%と最も多く、次いで「医師による面接指導」が30%でした。



働きすぎによる健康障害（特に関心があるものは何ですか）



8 ご意見、ご感想

アンケートの「ご意見、ご感想」の欄に74の方が記載されました、感想では、全体的に良かったが23人と多く、特別講演・事例等参考になったがありました。

意見では、休憩時間、質疑等についてありました。

ご来場いただいた方、アンケートにご協力いただいた方に心より御礼申し上げます。